

新美術館としての成果と今後について

1 沿革

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館は、昭和61年に策定した「芸術の森構想」の拠点施設として、民間施設を改修し借用する形で平成12年に開設しました。「街中のオアシス“街角美術館”」というコンセプトを掲げ、市民に親しまれる美術館として市街地の活性化に努めてきました。

開館から20年が経過し、施設の賃貸借契約期間が満了となることに伴い、渋川市役所第二庁舎1階に移転することが決定しました。令和4年4月より休館し、改修工事を経て、令和6年3月3日にリニューアルオープンを迎えることができました。

リニューアルオープンにあたり、移転後の美術館の総合監修を手がけた造形家・東京藝術大学名誉教授の池田政治氏を名誉館長に迎え、新しいコンセプトを「つながり ひろがる あおぞら美術館」と決めました。人と芸術・文化・地域などをつなぎ、そのつながりをひろげる拠点となることをイメージしています。美術館ホールの壁面には、このコンセプトを表現したレリーフが設置されています。

常設展示室は「桑原巨守彫刻ギャラリー」の名を冠し、群馬県沼田市出身の彫刻家・桑原巨守の作品を展示しています。半屋外の開放的な空間で、第二庁舎の開庁時間内であれば、いつでも無料で気軽に立ち寄ることができます。

企画展示室は、開館日の3月3日から開館記念展第一弾として「渋川を愛でる美術展2024」を開催し、現在第6弾まで開館記念展を開催しています。第6弾の「綿貫清～竹をあやつる匠の姿～」では図録も作成しました。最後の開館記念展 第7弾は、3月から始まる予定です。また、共催事業としての展覧会や、市民ギャラリーとしての貸出も行っており、市民ギャラリーは既に5つの団体等にご利用をいただきました。

その他、ワークショップ、スタンプラリー、美術館コンサートなどに取り組みました。更に、桑原巨守作品をはじめ当館で所蔵する作品をデザインしたミュージアムグッズの頒布も新たに開始しました。



来館者を迎える「輪のホール」



新しいシンボルマーク

2 新美術館の運営方針とコンセプト

「芸術の森構想」の理念や「開設当初の特色」を継承しつつ、より市民に開かれた、より身近な存在となる美術館とするため、新たな美術館の運営方針を策定するとともに、新たなコンセプトを定めました。

(1) 芸術の森構想

渋川市は、昭和61(1986)年1月に策定した「芸術の森構想」を主軸とし、市全体を「芸術の森」に見立て、昭和62(1987)年度から平成5(1993)年度に、市内の公共施設や中心市街地などに野外彫刻を設置し、芸術作品が日常の一部として存在する文化の香り高いまちづくりを推進してきました。

—— 芸術の森構想 基本理念（昭和61年1月策定）より ——

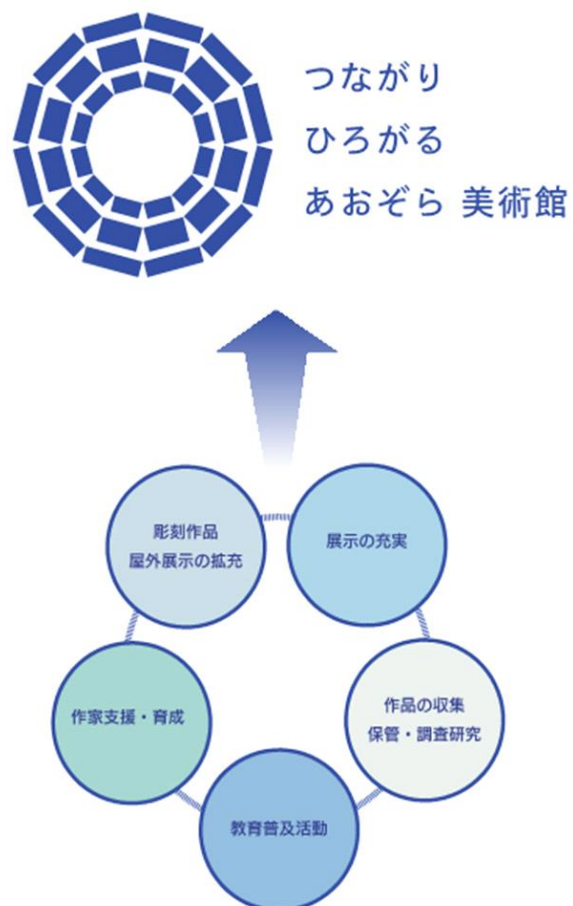
この地域のもつ自然、まちづくりの主体である市民、その市民の中で高まりつつある芸術文化活動への欲求、これらの要素が互いに絡み合い連携し合いながらつくりあげられていくもの、それが芸術の森です。

この構想は、総合公園を自然と調和した中で、芸術の香りあふれ、市民が自らつくり、育てる森とするものであり、さらにこの理念が総合公園を拠点とし、市全域に及ぶことを目的とするものです。

(2) 新美術館のコンセプト

新美術館の運営方針の策定に併せて、新たなコンセプトを「つながり ひろがる あおぞら美術館」と定めました。人と芸術・文化・地域などをつなぎ、そのつながりをひろげる拠点となることをイメージしています。

新美術館では、新たなコンセプトに基づき、様々な取り組みを実施しています。



3 施設概要

- (1) 運営主体 渋川市
 (2) 開設年月日 平成12年12月2日
 (令和6年3月3日 現在の場所に移転)
 (3) 所在地 渋川市石原6番地1
 (4) 区分別面積

区分		面積 (㎡)
市役所 第二庁舎	常設展示室 (桑原巨守彫刻ギャラリー)	196.76
	企画展示室	199.50
	ミュージアムホール、廊下	209.64
	事務室	100.00
収蔵庫 (渋川市小野子)		607.50

- (5) 開館時間 常設展示室： 8:30～20:00 (市役所第二庁舎の開庁時間に準ずる)
 企画展示室：10:00～17:00 (入館は16:30まで)
 (6) 休館日 常設展示室：12/29～1/3 (市役所第二庁舎の開庁日に準ずる)
 企画展示室：火曜日 (祝日の場合は翌平日)、12/27～1/4
 (7) 観覧料 常設展示室：無料
 企画展示室：その都度定める
 中学生以下、65歳以上、障害者手帳等をお持ちの方とその付き添いの方1名は無料
 (8) 駐車場 無料、普通車269台、うちおもいやり駐車場8台
 (市役所第二庁舎と共用)



4 展示事業

(1) 常設展示

「桑原巨守彫刻ギャラリー」の名を冠した常設展示室は、群馬県沼田市出身の彫刻家・桑原巨守の作品を10点展示しています。ガラス屋根に覆われた半屋外の開放的な空間で、第二庁舎の開庁時間であれば無料で気軽に立ち寄ることができます。天井から降り注ぐ“光”と、時に優しく時に鋭い“風”は、自然讃美を提唱した桑原が大切にしたいモチーフでもあります。作品に込めた思いを感じながら、鑑賞をお楽しみいただけます。また、西側駐車場から1階美術館へ降りる階段近くには、桑原の代表作のひとつ《春のよろこび》が設置されています。

■展示作品一覧

No.	題 名	制作年	材質	収蔵番号
1	大空に そうてん （蒼天に翔ける）	1985	ブロンズ	492
2	しみる夢 し	1987	ブロンズ	843
3	暉花酔 ひかりはなよい	1985	ブロンズ	517
4	太陽のめぐみ	1977	ブロンズ	598
5	風と花	1975	ブロンズ	1245
6	新頌麗陽 しんしょうれいよう	1988	ブロンズ	584
7	陽花 ひまわり	1991	ブロンズ	586
8	水のほとり	1981	ブロンズ	819
9	野の話	1973	ブロンズ	774
10	太陽にうたう	1985	ブロンズ	846
11	春のよろこび	1992	ブロンズ	596



常設展示室（桑原巨守彫刻ギャラリー）



桑原の代表作のひとつ《春のよろこび》

(2) 開館記念展

● 開館記念展Ⅰ「渋川を愛でる美術展2024」

令和6年3月3日 リニューアルオープン記念展の第1弾として開催。「渋川」をテーマに広く作品を公募し、無審査で全作品を展示しました。会期の前半に観覧者による人気投票を行い、上位16作品には「オーディエンス賞」を送りました。

会期：令和6年3月3日（日）～31日（日） 25日間

観覧料：無料

会場：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室

観覧者数：1,464人 出品点数：29点



● 開館記念展Ⅱ「コドモ@しぶびい あーとで変身！仮装とフラグ」

開館記念展の第2弾として開催。休館中の令和4・5年度に開催した子ども向けワークショップで制作された作品で、衣装を身につけた制作者の等身大の写真やフラグを展示し、美術館がにぎやかに変身しました。

会期：4月26日（金）～5月26日（日） 27日間

観覧料：無料

会場：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室

観覧者数：399人



● **開館記念展Ⅲ「第21回 渋川市民美術展」**

開館記念展の第3弾として開催。渋川美術協会と共催する、市民が主体の美術展で、渋川市在住・出身・在勤・在学の16歳以上の人を対象に、洋画・日本画・彫刻作品を公募し、無審査で全作品を展示しました。美術協会が審査を行い、優秀な作品を表彰しました。

会期：6月7日（金）～23日（日） 15日間

観覧料：無料

会場：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室

観覧者数：1,198人



● **開館記念展Ⅳ「渋川の風景を探る～石野安親・狩野守・八峠操～」**

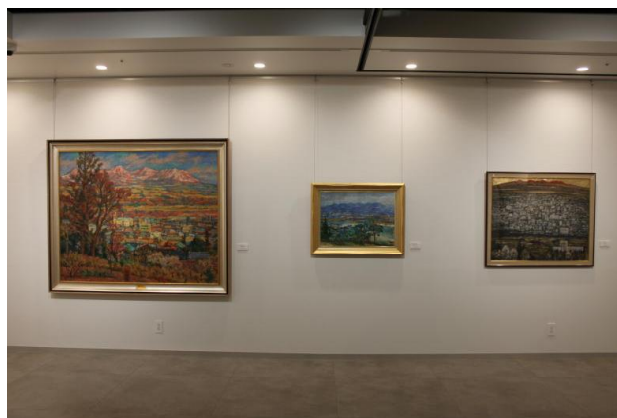
開館記念展の第4弾として開催。渋川市の著名な画家3人が描いた渋川市や近隣の風景の作品を展示しました。また、そのうち何点かは絵と同じアングルで写真を撮影し現在の風景を紹介しました。

会期：7月11日（木）～28日（日） 16日間

観覧料：無料

会場：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室

観覧者数：381人



● 開館記念展Ⅴ「美術館でまちづくり マチアソビ」

開館記念展の第5弾として開催。ワークショップ「段ボールで美術館に街をつくろう！」で制作された作品を展示し、美術館に子どもたちの豊かな想像力による楽しい「街」が創られました。

会期：8月10日（土）～31日（土） 19日間

観覧料：無料

会場：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室

観覧者数：528人



● 開館記念展Ⅵ「綿貫清～竹をあやつる匠の姿～」

開館記念展の第6弾として開催。様々な技法を駆使して編まれた紋様や、竹特有のしなやかさから生まれる美しい形状など、竹工芸作家の綿貫清による匠の技で生み出された美しい作品を展示しました。

会期：10月5日（土）～11月10日（日） 32日間

観覧料：無料

会場：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室

観覧者数：1,237人



(3) 共催事業

● 「**渋川・北群馬・渋川特別支援学校児童生徒作品展**」

渋川・北群馬教育研究会及び群馬県特別支援教育研究会と共催。渋川・北群馬地域の小中学校の特別支援学級と渋川特別支援学校に通う児童・生徒たちが、日頃の学習を通して制作してきた作品を発表しました。

会期：令和6年11月14日（木）～17日（日） 4日間

観覧料：無料

会場：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室

観覧者数：661人



● 「**第49回 渋川・北群馬図工美術作品展**」

渋川・北群馬教育研究会と共催。渋川・北群馬地域の小中学校に通う児童・生徒に作品展示の機会を提供し、美術への興味や豊かな想像力を育成することを目的に開催しました。参加校は29校でした。

会期：令和7年1月10日（金）～26日（日） 15日間

観覧料：無料

会場：渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室

観覧者数：1,736人



5 教育普及事業

(1) ワークショップ

● 「段ボールで美術館に街をつくろう！」

こどもたちが段ボールで家やショップ、お城等の建物や、乗り物等の立体物を制作しました。県立女子大の学生や渋川女子高校の生徒がアシスタントとして加わり、制作の手助けをしてくれました。作品は開館記念展第5弾「美術館でまちづくり マチアソビ」に展示し、美術館の中に理想とするカラフルで楽しい「街」を創りました

日時：令和6年8月4日（日） Aコース：10時00分～12時00分

Bコース：13時00分～15時00分

場所：渋川公民館 講堂

対象：4歳～中学生

講師：群馬県立女子大学 奥西准教授

参加者数：48人（両コース合計）



(2) スタンプラリー

● 「きて！みて！渋川市の文化施設へGO!! 2024」

夏休み中の小中学生を対象として、身近な芸術文化活動に触れてもらおうと開催しました。市内の文化施設4館を巡ってスタンプを押してもらい、完走した人には賞状と記念品を贈呈しました。

実施期間：令和6年7月20日（土）～8月26日（月）まで

※市内小中学校の夏休み期間中

対象施設：渋川市赤城歴史資料館、渋川市北橘歴史資料館、徳富蘆花記念文学館、渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館

対象者：小学校及び中学校に在籍する児童生徒（市外も可）

完走者数：59人

6 成果

新美術館は、「つながり ひろがる あおぞら美術館」をコンセプトとして、人と芸術・文化・地域などをつなぎ、そのつながりをひろげる拠点となることを目指しています。

新美術館の建設に当たり、1口10,000円の寄附を募ったところ、個人や企業等から51件17,830,000円の寄附をいただきました。10口以上の寄附をいただいた方にはお名前を記した銘板を美術館入口近くに展示しています。また、寄附をしていただいた方に、企画展の案内を送付し、当館とのつながりを継続していただいております。

常設展示室は、10体の彫刻を展示し、建物内（輪のホール）からもガラス越しに観ることができ、夕方は夕暮れや天候に応じてライトアップを行っています。観覧料を無料としており、誰でも気軽に立ち寄れる彫刻美術館として運営しております。



【寄附者銘板】

新美術館は、保健センター、渋川公民館、水道課等が入る市役所第二庁舎に併設されていることから、美術館の展示作品の観覧を目的として来た人だけでなく、他の用事があって来庁された方々にも立ち寄っていただいています。

また、コンセプトに基づき、内容を充実させ、魅力を増した取り組みとして開館記念展を6回、教育普及事業を2回開催し、多くの方にご来館いただいています。

7 現在の課題

(1) 市民等の来館促進

令和2年度実施の「美術館に係る市民アンケート」では、「渋川市美術館に行ったことがあるか」との問いに、62.4%の人が「行ったことはない」と回答しています。リニューアルオープンした新美術館は、第二庁舎への移転を機に、なお一層親しみを持ってご来館いただけるよう取り組んでまいります。第二庁舎は「複合施設」ですので、美術館へ来ることが直接の目的でなかった方たちにも立ち寄っていただけたところです。常設展示の彫刻を気軽に観覧していただくため、有料から無料へと改正をしました。

市民の誰もが「市美術館に行ったことがある」と答えていただけるよう、更に工夫を重ね魅力ある美術館運営に努めてまいります。

（２） 館の場所の案内

現在も「新美術館の場所がわからない」や、「第二庁舎まで来たが、駐車場から新美術館の入口がわからなかった」などの声があります。第二庁舎での美術館の案内看板等が少ないためか、初めて美術館を訪れる方は、第二庁舎西側の玄関から入るものの、そこが１階であると勘違いし、実際には２階のフロアで１階の美術館を探してしまうということがあるようです。

今後は、庁舎管理とも相談しながら分かりやすい案内に努めてまいります。

８ 今後の取り組み

（１） 魅力ある企画展の開催

令和７年度の事業として、企画展を５回、共催展を４回予定しています。運営方針にも「ジャンルにとらわれない企画や発表」とありますとおり、例えば動物写真家の作品展示や、アニメの原画展など、これまでに開催がなかった展示も含め、幅広く取り組みたいと考えています。

また、初めての取り組みとして、「渋川市手わざの美と心展」を企画しました。渋川市の暮らしの中にある美術「手わざの美」をクローズアップして、広く紹介したいと考えています。

（２） 伊香保温泉との連携

以前より、渋川市美術館で開催される企画展等のチラシは、伊香保温泉の旅館等へも配布させていただき、観光客への周知にご協力をいただいておりますが、今後は、より連携を深めながら、集客につながるような魅力ある企画ができないか共に考えていけたらと思っております。

（３） あおぞら美術館の実現に向けた取組

「芸術の森構想」により、昭和６２年～平成５年にかけて市内の公共施設や中心市街地などに数多くの屋外彫刻が展示されました。それらの作品群ともつながりを広げ、市内全域を明るく開放的な”あおぞら”に見立て、新美術館はその拠点となることをイメージしています。今後も市内の数多くの場所への屋外彫刻の設置を推進し、「芸術の森」から空を見上げ、市民が未来に向かって前向きな気持ちで日々の生活を送ることができるよう、取り組んでいきたいと思っております。

9 （参考）企画展示室の月別観覧者数

年 月	観覧者数	展覧会等
R6 3月	1,464 人	開館記念展Ⅰ 渋川を愛でる美術展 2024
4月	94 人	開館記念展Ⅱ コドモ@しぶびい：あーとで変身！ 仮装とフラグ 他
5月	336 人	
6月	1,249 人	開館記念展Ⅲ 第21回 渋川市民美術展 他
7月	381 人	開館記念展Ⅳ 渋川の風景を探る～石野安親・狩野守・八峠操～
8月	528 人	開館記念展Ⅴ 美術館で街づくり マチアソビ
9月	1,125 人	市民ギャラリー（3回）
10月	779 人	開館記念展Ⅵ 綿貫清～竹をあやつる匠の姿～ 共催展 渋川・北群馬・渋川特別支援学校児童生徒作 品展、市民ギャラリー（1回）
11月	1,546 人	
12月	701 人	共催展 いつもをカタチに展、市民ギャラリー（1回）
R7 1月	1,736 人	共催展 第49回 渋川・北群馬図工美術作品展
2月	人	市民ギャラリー（3回）
3月	人	開館記念展Ⅶ 衣 真一郎展～古墳とピラミッド～
合 計	9,939 人	（展覧会等開催数 18回）

過去の実績

令和3年度	観覧者数	5,911人（展覧会等開催数 12回）
令和2年度	観覧者数	8,207人（展覧会等開催数 10回）
令和元年度	観覧者数	11,445人（展覧会等開催数 18回）
平成30年度	観覧者数	10,022人（展覧会等開催数 18回）
平成29年度	観覧者数	8,092人（展覧会等開催数 16回）